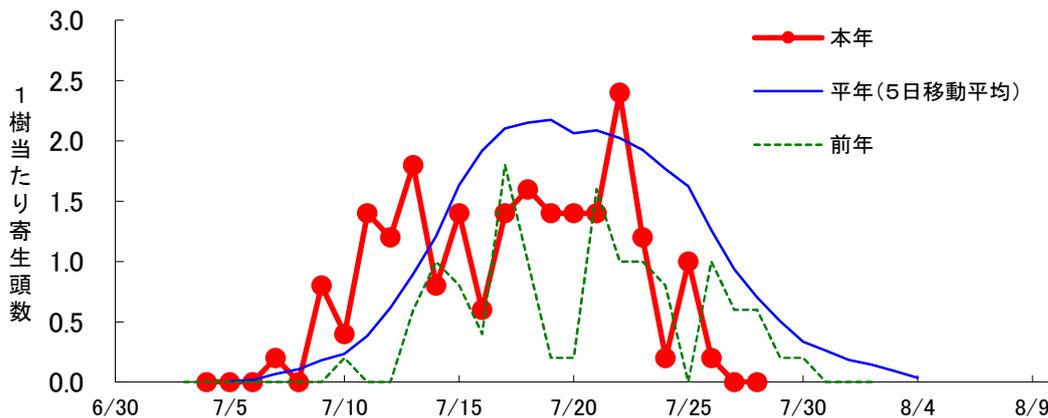


## カキノヘタムシガに注意（第2報）

岐阜市木田で行ったカキノヘタムシガ第1世代成虫の見取り調査において、本年は7月22日(2.4頭)にピークが認められました。平年のピークは7月20日で、発生時期は平年並でした。ピークにおける発生量は平年より少なかったのですが、成虫が観察される期間が長かったため、累計の発生量は平年並となりました。

発蛾最盛期3～10日後頃より果実への食入が始まるため、防除適期は7月下旬～8月上旬頃と予測されます。本虫は防除適期が短いため、防除のタイミングに注意してください。また、本年は発蛾期間が長かったことから、1回のみでの防除では不十分な可能性があります。長期残効が期待できる薬剤を選択するか、1回目の防除から7～10日後に追加防除を実施してください。



見取り調査によるカキノヘタムシガ(カキノヘタムシガ)第1世代成虫1樹あたり寄生数の推移  
(岐阜市木田)

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。  
農薬登録情報提供システム  
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。  
岐阜県病虫害防除所  
<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>